小学５～６年・実技教科・体育、オンライン学習

「表現運動（ミラノ探検隊出動！）」

イタリア・ミラノ日本人学校

1 前　提

学校環境

» 校内 Wi-Fi 設置

» 教室や特別教室に大型モニター及び教師用 PC を設置

課題と目標

＜課題＞

» 高学年の児童は休み時間になるとほとんどが教室の外へ出て遊具遊びやサッカーをしているくらい体育が好きである。しかし、コロナ禍における**ロックダウンの影響でかなり運動量が不足している。**

» 運動量だけでなく外遊びの機会がなくなったため、**友達同士や異学年と交流する場が少なくなっている。**

＜目標＞

» 運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、表したい感じを表現したり、踊りで交流したりすることができる。（知識、技能）

» 自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。（思考、判断、表現）

» 運動に積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりして表現しようとしている。（主体的に取り組む態度）

2 実践の内容

活用した ICT ツール

ICT 機器	iPad などカメラ機能が使用できるようにした端末（１人１台）
ネットワーク	Zoom などが接続できるようにする（各家庭の環境による）
使用アプリ	Zoom、Microsoft PowePoint
その他	表現運動用に場面に応じた BGM や動きの説明用の画像など

具体的な活用方法

1.心と体をほぐす

オノマトペで動きのヒントを与えながらアップテンポの曲に合わせて①スローモーション②コマ送り③表情④強弱⑤高低⑥速遅⑦大小⑧新聞紙になろう、の①～⑧の要素を恥ずかしがらず表現できる雰囲気を作る。※図１

探検の時にありそうな場面をＢＧＭとともに実況し、４つのくずしが自然とできるようにする。※図２

2.学習課題を確認する ※図３

3.自分の班の友だちの動きを観察する

Zoom のブレイクアウトセッション機能（ブレイクアウトルーム）を使用し自分の班の友だちと「ジャングル・宇宙・海底のテーマ」からその場面にあった出来事を自由に想像させ、お互いに場面に合った動きを考える。

仲間の動きを見て良い動きを見つけ自分の動きへ取り入れる。

4.他の班の友だちの動きを観察する

班ごとに発表をし、友だちの動きを見て良い動きを見つけ自分の動きへ取り入れる。

発表をする際は Zoom のスポットライト機能を使用すると良い。

教師はリーダーやアイデアが出ない時に同じ動きでも、表現のしかたを少し変えることで違う動きになるなど助言をする。

5.本時の学習を振り返る ※図４

友だちの表現のしかたや考えを参考にして自分の表現を工夫することができたか、友だちと有意義に交流しあうことができたかなど学習のめあてが達成できていたかを振り返らせる。

セットメニュー例

目の前には、１本橋。そろりそろりとわたるが、グラグラして落ちそう。何とか渡り切った。すると、火山が大噴火。火山の噴火を表そう。はじめは、ボッボッ中パッパッいよいよ噴火だ。３，２，１ボーン。火山の勢いで吹き飛ばされるが何とか助かった。雲行きが怪しい。雷だ。ゴロゴロバリバリピリピリ。何とか乗り越えた。そこには、洞穴が。真っ暗で何も見えない。ソロリソロリ。ピチャ冷たい上から水が落ちてきた。くもの巣で前が見えない。その中にかすかな光が。見つけた。お宝ゲット。

図１

作品の工夫・「４つのくずし」

（１）曲のくずし とにかく大げさに弾く。 ・曲の先、つのの先までダンス ・音符は全部弾のもう ・おへそ、肩の先を曲がそう ・曲のどこかにおどりを入れよう	（２）リズムのくずし リズムに変化をつけることで、メリハリのあるダンスになる。 ・強い弾きは踊り過ぎる ・高にかを入れたり低い方りしよう ・ストップやスローモーションを入れてみよう
（３）人間模様のくずし １人ではできない弾きに挑戦することによって、弾きが出来ないになる。 ・友達の弾きとぴったり合わせよう ・友達と応対の弾きをしよう ・友達と体をかからせよう ・友達と絡づこう，組れよう	（４）空間・場のくずし 人のいないところへ弾く。 ・側面全体，天井までステージだよ ・床から５cmの弾者になろう

図２

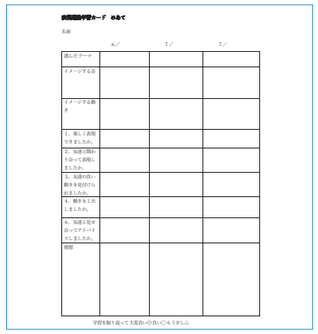

図３

感想

今日の探検隊では、画面をうまく使って遠近感や立体感を表すことができました。H 君が、話し合いの時にロケットの炎を手で表す方法を工夫していてとても楽しかったです。次は、ジャングルを探検したいです。

６年男子

図４

3 成　果

ICT ツールを活用したことでできるようになったこと

オンラインなので（ICT を活用すると）見せたい画像や画面共有が簡単にでき動きのイメージがしやすく、また、表現運動を行ったので、BGM を自由にかけることができ、その音楽に合わせてセットメニューをすることができた。

Zoom のブレイクアウトセッションという機能を使うとグループを自由に作ることができるので、自由に組織することができ活発な話し合いができた。

画面の使い方を工夫すると遠近感や立体感を表すこともできそうだ。

右図は ※図５、図６ Zoom を使用して教師や児童が各家庭で体育のオンライン授業を受けている様子

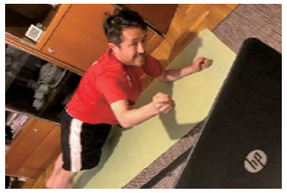

図５

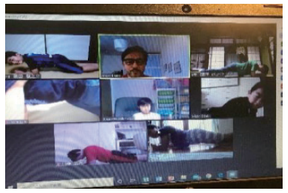

図６

児童生徒、教師、保護者の反応

最後に発表会をしたときに、ノリノリで表現した児童たちの表情が忘れられない。

イタリア・ミラノ日本人学校